学校番号	1004

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　公共　（第一学習社）						
副教材等	テーマ別資料　公共　（東京法令出版株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主権者としての基本的な事柄を理解し、その知識を身につける。
・暗記ではなく、歴史的な背景やメカニズムを意識して学習する。
・より良い社会の仕組みについて、自らの考えを持てるようにしよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代社会の諸課題に関する基礎的な知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
・現代の諸課題の要因を歴史的観点から考察することができる。

【学びに向かう力、人間性等】
・国際社会に主体的に生きる主権者としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質について広い視野に立って考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き、より良い社会を形成していく市民としての責務を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち　公共的な空間における人間としての在り方生き方	・公共的な空間と人間とのかかわり ・社会に参画する自立した主体として	a：人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 b：孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに、異文化などの他者との協働により、人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察・表現している。 c：公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		・人間としてのあり方生き方についての探求 ・選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	a：自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 b：伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。 c：公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

2学期	法的な主体となる私たち	・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義	a: 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b: 生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 c: 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		・政治参加と公正な世論の形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛	a: 政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b: 地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが、国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し、表現している。 c: 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
3学期	経済的な主体となる私たち	・雇用と労働運動 ・市場経済の機能と限界 ・金融の働き	a: 企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちは、どのように経済活動に参加しているのか、理解している。 b: 雇用と労働問題について、日本的雇用慣行の崩れなど、現代の諸課題を主体的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 c: 雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度